

投資信託で「お金に働いてもらう」

話題になるが、本当はよく知らない…。
そんな大人の知識の入り口を開く教養講座。今回は「投資信託」です。

監修/投資家加藤 (ファイナンシャルプランナー・金融・投資 個別コンサルティング) <http://www.us-hiro-mitani.net/>

世界中が超低金利時代 口座に置いたままのお金は増えません

なんとなく金融機関に預けているお金。「増えないな〜」と放置するのではなく、「増やさなきゃ!」と考え方を覚えることも必要です。現在、先進各国は超低金利が続く、預貯金では増えず、お金にも働いてもらい、増やそうと気運が高まっています。その初めの一歩に「投資信託」がぴったりです。

投資信託は初心者でも始めやすい 投資先の「パッケージ商品」

投資を信じて託すことが投資信託。投資家から集めたお金を一つの大きな資金としてまとめ、運用のプロが株式や債券、不動産などに投資・運用するパッケージ商品です。運用成果が出て価格が上がれば、投資額に応じて分配金を受けたり、売却して値上がり益を得ることもできます。例えば、「100社ぐらゐの会社に投資する」パッケージ商品を、内容を検討して「私も買う」と手を挙げれば、少額からでもその商品が手軽に購入できる仕組みです。結果によっては元本割れするリスクがあるということも覚えておきましょう。

取り扱う金融機関は意外に多い 自分に合った購入先を選ぶ

最初に仕組みや投資先、手数料などの知識を身に付ける必要があります。証券会社、銀行、保険会社・郵便局などで対面のアドバイスをプロから受けましょう。決してその場では購入せずに検討を。手数料が安いネット証券、しっかりした説明で信頼ができる証券会社、近くで入店しやすい銀行など、どの金融機関で購入するのが良いのかは人によって異なります。冷静な目でメリット・デメリットを検討して、自分に合った金融機関を選びましょう。

国も投資を後押し NISA(少額投資非課税制度)の利用が有利

通常は投資信託や株式などの金融商品に投資した場合、これを売却して得た利益や受け取った分配金や配当金に対して約20%の税金がかかります。しかし、20歳以上に限り、2014年から始まった年間120万円まで非課税になる「一般NISA」、2018年から始まった年間40万円まで非課税になる「つみたてNISA」が投資を大きく後押ししています。この制度をしっかりと勉強して、利用することで投資信託の運用が更に有利になることでしょう。



投資には向き・不向きがあります 応援先の成長を期待し、見守る時間も大切

感情的で、値が上がったら不安で、冷静な判断ができなくなってしまう人、また、すぐに結果を求めがちな人は投資に「不向き」です。生活資金で行うのではなく、余裕資金で気長に行いましょう。投資は国や会社の事業を「応援」することで、成長するには見守る時間も大切です。すぐに結果が出ないのも当たり前です。一般的には1万円・1000円単位、少額の100円単位で購入できるネット証券もあります。NISAを利用して毎月一定額の購入も一案です。まずは投資を始めることが大切。将来のライフプランへの関心も高まり、もっと明るい「自分投資」につながることでしょ。